住宅改修が必要な理由書

〈基本情報〉

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和 年 月 日	性別	□男 □女
	被保険者氏名		要介護認定（該当に〇）		要支援	要介護		
					1 ・ 2	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5		
	住所					認定有効期間		
						平成 年 月 日～平成 年 月 日		

作成者	現地確認日	平成 年 月 日	作成日	平成 年 月 日
	所属事業所			
	資格（作成者が介護支援専門員でないとき）			
	氏名			
	連絡先	※ 電話番号を記入してください。		

保険者	確認日	平成 年 月 日	評価欄	
	氏 名			

改修前にすでに利用している、又は改修後に利用が想定される福祉用具がある場合には、下記の欄にチェックすること。

〈総合的状況〉

利用者の身体状況	移動や立ち上がり、姿勢保持といった生活動作に関する身体状況を記述する。 移動方法（必要に応じて屋外での移動方法も）については必ず記入すること。 対象者が入院(所)中に住宅改修を行う場合にはその旨明記し、退院(所)見込みの時期を記入すること。 ※ 退院(所)のめどが立っていない時点では、住宅改修の申請を受け付けることができません。
介護状況	居宅での介護状況を記述する。 ・居宅で同居している家族等の人数 ・主介護者、その他家族等の介護状況（見守り等も含む） ・介護サービス等の利用状況 （必要に応じて介護サービス以外の状況も記入すること。［例］通院など外出の状況、配食サービス等…）
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	住宅改修を行うことにより、利用者（及び家族等）は日常生活（介護状況・ＡＤＬ・社会参加など）をどのように変えたいと希望しているのか、またどのような効果が得られるのかを、総合的に記入する。 ※ 具体的な改修方針や改修項目は裏面に記述する。 ☆ 居宅で生活する上での、現状の問題点 ↓ 住宅改修を行い・・・ ↓ 日常生活をどう変えたいか（どのような効果が得られるのか） という流れで記入すると、住宅改修の必要性がより分かりやすい。

福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
●車いす	□	□
●特殊寝台	□	□
●床ずれ防止用具	□	□
●体位変換器	□	□
●手すり	□	□
●スロープ	□	□
●歩行器	□	□
●歩行補助つえ	□	□
●認知症老人徘徊感知機器	□	□
●移動用ﾘﾌﾄ	□	□
●腰掛便座	□	□
●特殊尿器	□	□
●入浴補助用具	□	□
●簡易浴槽	□	□
●その他		
・	□	□
・	□	□
・	□	□